

高齢者や障害者に優しい

パステルラボの電話対応システム

北陸通信局長が視察



北陸総合通信局の齊藤一雅局長は24日、福井市高木町の福井ケーブルテ

レビ（コールセンター）を訪問し、パステルラボ（金沢市）が開発した

「ユニバーサル電話対応力向上システム」を視察した。写真。

情報通信

研究機構から助成を受けて開発した同システムは、企業や自治体の

コールセンターにおいて、高齢者や障害者への電話対応サービスを向上させる研修用の動画ソフトで、総務省の地デジコールセンターなどに導入されている。

パステルラボは、多くの分野で同システムを容易に利用できるようにするため、クラウドサービス化を検討しており、関係者から関心が寄せられているという。

同通信局は、高齢者や障害者に優しい社会づくりに貢献する同社のこの取り組みを評価し、助言や周知広報などを通じて支援している。

建設工業新聞

平成24年4月25日